

令和4年度 事業報告

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

令和2年の年明けから急速な拡大となった我が国の新型コロナウイルス感染症は、令和5年3月末現在、3,347万人の感染者と約74,000人の死亡者を出しましたが、今年の3月に入り、ようやく収束の兆しが見えてまいりました。又、ロシアによるウクライナへの軍事進攻は、1年経過後も変わることなく激戦が繰り広げられ、食糧、エネルギーの高騰等深刻な問題を引き起こしてきました。

奈良県においては、原材料の高騰等で悪化傾向の経済が、昨年後半からは政府の支援によりサービス業を中心に持ち直しが見られたものの、完全な回復には至らず、資源高・円安を受けた物価高騰等の経済下振れリスクにより、先行き不透明な状況が続いてきました。

こうした中、奈良労働局登録教習機関として実施している技能講習の受講者数は、一昨年に比べ1割弱の減少となりましたが、今年の2月から新たに開始した建築物石綿含有建材調査者講習等により、収支状況は前年度と大差のない状況を保つことが出来ました。

また、事業活動の低迷等が理由と思われる事業場の退会も見受けられました。令和4年4月1日から令和5年3月31日までの各支部における会員の入退会の状況は、以下の通りとなりました。

支 部	奈良	葛城	桜井	大淀	計
令和4年3月31日現在	335	230	110	123	798
新 入 会 員 数	3	1	1	0	5
退 会 会 員 数	8	5	3	3	19
令和5年3月31日現在	330	226	108	120	784

* 支部間移動については、新入会員数・退会会員数に計上。

公益目的達成の為に、以下の事業を実施しました。

1 公益目的事業

労働災害の未然防止、働く人の安全と健康の確保、労働基準法等関係法令の普及・啓発、快適職場環境の形成、産業の健全発展等の為に実施しました。

(1) 労働災害防止対策・健康保持増進対策の推進

技能講習、特別教育、講習会等

(ア) 資格付与(別添「令和4年度技能講習等実施状況」参照)

(イ) 特別教育(別添「令和4年度技能講習等実施状況」参照)

(ウ) 講習会・研修会等

⑦ 経営者・管理者等労務管理セミナー

○ 会場等

開 催 日 令和4年6月22日(水)

場 所 株式会社奈良新聞社 西館3階会議室

参 加 者 13名

○ 内 容

- ①「労働基準監督行政の重点について」
- ②「労災補償について」
- ③「改正育児・介護休業法について」
- ④「改正個人情報保護法について」

④ 外国人技能実習制度関係者養成講習

「外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律」に基づき、技能実習制度がこれまで以上に適切かつ円滑に運営されることを目的に実施しました。

講習内容等

① 監理責任者等講習

開 催 日 令和4年8月23日(火)
場 所 株式会社奈良新聞社 西館3階会議室
受講者数 6名

② 技能実習責任者講習

開 催 日 令和4年8月24日(水)
場 所 株式会社奈良新聞社 西館3階会議室
受講者数 26名

③ 技能実習指導員講習

開 催 日 令和4年8月25日(木)
場 所 株式会社奈良新聞社 西館3階会議室
受講者数 10名

④ 生活指導員講習

開 催 日 令和4年8月26日(金)
場 所 株式会社奈良新聞社 西館3階会議室
受講者数 11名

⑦ 新入社員の安全衛生研修会

新入社員等の安全かつ健康就労を目的に、実施しました。

○ 会場等

開 催 日 令和4年4月12日(火)他
場 所 株式会社奈良新聞社 西館3階会議室他
参 加 者 56名

○ 内 容

「新入者安全衛生テキスト」(中央労働災害防止協会編)等を使用。

⑤ 労働衛生セミナー

労働衛生担当者、人事・労務担当者等を対象に、実施しました。

○ 会場等

開 催 日 令和5年2月2日(木)

場 所 ホテル リガーレ春日野「天平の間」

参 加 者 22名

○ 内 容

①「受動喫煙防止対策について」

②「人生100年時代とお口の健康について」

③「業務における精神疾患の労災認定について」

④ 作業環境測定実施促進対策

様々な機会を活用し、法定の作業環境測定の促進を図りました。

(2) 普及啓発事業

労働災害の未然防止に資するために、労働安全衛生法、労働基準法等関係法令等に関する普及啓発事業を行いました。

(ア) 第13次労働災害防止計画の周知活動 通年

(イ) ゼロ災全員参加運動 通年

経営者、管理監督者、第一線で働く人々等が、各々の立場・持ち場で労働災害防止活動に参加し、衆知を集めて問題を解決する明るく生きいきとした職場風土作りを目的に、本運動を推進しました。

(ウ) 中央労働災害防止協会の年間スローガン「全員で 目をかけ 声かけ 意識して目指そう安全・健康職場」の周知・広報に努めました。

(エ) 第33回3ヵ月無災害運動

奈良労働局・管下労働基準監督署の主唱により、本運動を展開しました。当協会には、200事業場からの申し込みがあり、171事業場は無災害達成証を交付しました。

(オ) 全国安全週間及び準備月間行事 6月1日～7月7日

人命尊重という崇高な基本理念の下、産業界における自主的な労働災害防止活動を推進すると共に、広く一般の安全意識の高揚と安全の定着を図るために実施しました。

(カ) 全国労働衛生週間及び準備月間行事 9月1日～10月7日

県内における労働衛生の意識を高揚させ、事業場における自主的労働衛生管理活動の定着を通じて労働者の健康確保と労働災害の防止を図るために、実施しました。

(キ) 全国産業安全衛生大会(福岡市)への参加 10月19日～10月21日

新型コロナウイルス感染症禍の為、リアルとオンラインにより開催されました。奈良県内からの参加者は、前年より多い29名でした。

(ク) 奈良県産業安全衛生大会

新型コロナウイルス感染症のため中止となりました。

(ケ) 健康診断実施促進運動 通年

労働安全衛生法等で定める健康診断の実施促進のための周知・啓発を行いました。

(コ)受動喫煙のない職場の実現

通年

2月2日に研修会を実施すると共に、周知・啓発を行いました。

(サ)第52回年末年始無災害運動

12月1日～1月15日

年末年始に多発傾向にある労働災害、交通労働災害、火災などの災害防止のため、「待ってます 元気なあなた 明るく迎える年末年始」をスローガンに、本運動の普及・啓発に努めました。

(3)機関誌の発行事業

機関誌「奈良労基」を毎月1回、定期発行しました。令和4年4月1日～令和5年3月31日までに10,800部発行しました。

(4)安全・衛生等表彰事業

労働災害の未然防止と、労働者の福祉の増進及び快適な労働環境の促進を図ることにより奈良県下の産業発展に寄与することを目的に、県内の安全衛生水準の向上に努力し、安全衛生成績の進歩の跡が顕著である4事業場に「事業場賞」を、永年地域の労働安全衛生水準の向上に功労のあった4名に「個人賞」を交付し、会長表彰を行いました。

(5)相談・援助事業

労働基準法等の労働者保護法令に関する相談に応ずると共に、当協会では対応不能な事案については労働局・署・所等の関係行政機関を紹介しました。

2 その他の事業

(1)労働災害防止団体等の事務代行を行いました。

(2)労働安全衛生関係用品斡旋事業を行いました。

(3)その他労働災害防止に関連する事業(労働災害総合保険の斡旋等)を行いました。